

まちづくり交付金 事後評価シート
岡部駅南地区

平成20年 12月

埼玉県深谷市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	深谷市(旧岡部町)	地区名	岡部駅南地区			面積	164ha				
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	778.4百万円	国費率	0.322						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道岡6号線他3路線)、既存建造物活用事業(岡部公民館他)										
		提案事業	事業活用調査(岡部交流センター活用調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名			削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし				-	-					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:岡中央地区区9-2号線他1路線、区9-4号線他5路線、区6-23号線他3路線、区6-19号線他2路線、区6-2号線他4路線、区6-11号線他3路線、区6-42号線他4路線、公園:岡中央地区1号～4号街区公園、地域生活基盤施設:岡中央緑地、高質空間形成施設:防犯灯			区域拡大に伴う追加		影響なし					
	提案事業	地域創造支援事業:土地区画整理事業(岡中央地区)、下水道事業(岡部処理区)			区域拡大に伴う追加		影響なし						
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
	変更	-											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	通りの歩行者数	人/日	1,000	H16	1,500	H20	モニタリング	880	x	ありなし ●	道路整備の遅れを大きな理由として、通りの歩行者数増加に寄与しなかった。	H21.4
	指標2	利用者数	人/年	56,000	H15	62,000	H20	評価値	59,613	△	ありなし ●	施設改修に先立ち、アンケートにより住民ニーズを把握し、その結果を施設設計に反映させたことから、住民にとって利用しやすい施設を整備することができた。	H22.3
	指標3	来場者数	人/日	70,000	H15	100,000	H20	モニタリング	121,000	○	ありなし ●	道路の歩道整備や防犯灯の設置等により道路環境が改善され、歩行者の安全性が向上するとともに、コスモス街道の南側への花壇の設置等により快適性が向上し、イベント来場者の増加につながった。	H21.10
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	歩道の整備率	%	2.3	H15						岡部駅から埼玉工業大学に向かう道路の改良とバリアフリーに配慮した歩道の整備が進められたことにより、区域内の歩道整備率が向上し、目標である「歩行者の安全性・快適性確保」に寄与した。	H21.4	
	その他の数値指標2	人1人当たりの公園面積	m ² /人	2.3	H16						岡中央土地区画整理事業の実施により公園整備が進み、区域内における一人当たり公園面積が増加したことから、目標である「都市基盤施設整備の促進による魅力ある住環境の創出と、歩行者が安全・快適に回遊できる空間整備の推進」に寄与した。	H21.4	
4) 定性的な効果発現状況	埼玉工業大学の学生への聞き取り結果では、岡部駅から埼玉工業大学に向けた道路の改良で歩道整備が進んだことにより、「以前に比べて安全に歩けるようになった。歩きやすくなった。」等の意見があり、数値(指標1)では表されませんが、事業に対する一定の評価を得ている。												
5) 実施過程の評価	実施内容	実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			-					-		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-					-		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					-		
住民参加プロセス	・既設組織(旧岡部町産・学・公・民連絡協議会 平成14年度設立)を中心とした、大学と連携したまちづくりの推進 ・施設改修にあたり市民ニーズを反映させるための「岡部交流センター活用調査」の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	・埼玉工業大学と連携した学習教室(現在は年1回開催)を維持・継続するとともに、大学と住民の協働による取組をさらに普及させていく。また、その実施主体となる組織づくりの検討を進める。					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-	・施設完成後一定期間経過後に再度利用状況調査等を実施し、施設の有効活用に努める。					
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-	・活動範囲についても、公民館だけではなく、計画道路の歩道部等にも広がっていくよう努める。					
持続的なまちづくり体制の構築	道路の植栽スペースへの草花の植栽及び除去や、一貫した管理やゴミ拾い等の清掃作業といった、住民参加による「まちづくりの一環事業」の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	・公民館利用団体だけでなく、活動の輪を地域住民にも広げていくことが望まれる。					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-						
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-						

様式2-2 地区の概要

岡部駅南地区(埼玉県深谷市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 教育と安全を大学・住民と協働し、魅力ある都市空間の整備により快適な居住環境を創造するまちづくり 目標1: 道路改修による歩道や道路照明灯などの整備により、歩行者の安全性・快適性と景観形成を図る。 目標2: 現有施設の用途変更により、複合機能を有する交流施設として改修整備し活性化を図る。 目標3: 都市基盤施設整備を促進させ、魅力ある住環境を創出するとともに歩行者が安全で快適に回遊できる空間の整備を推進する。	通りの歩行者数	単位: 人/日	1,000	H16	1,500	H20	880	H20
	利用者数	単位: 人/年	56,000	H15	62,000	H20	59,613	H20
	来場者数	単位: 人/日	70,000	H15	100,000	H20	121,000	H20
	歩道の整備率	単位: %	2.3	H15	—	—	53.2	H20
	人口一人当たりの公園面積	単位: ㎡/人	2.3	H16	—	—	3.9	H20

The map shows various project locations in the Okabe Station South Area, including:

- 基幹事業(公園) 第3号街区公園整備
- 基幹事業(公園) 第1号街区公園整備
- 基幹事業(公園) 第2号街区公園整備
- 基幹事業(公園) 第4号街区公園整備
- 基幹事業(道路) 区9-2号線他28路線 道路舗装
- 基幹事業(道路) 市道岡6号線道路改良及び歩道整備(第Ⅱ工区)
- 基幹事業(道路) 市道岡6号線道路改良及び歩道整備(第Ⅰ工区)
- 基幹事業(道路) 市道岡3-158号線他道路改良及び歩道整備
- 基幹事業(道路) 市道岡2-232号線道路改良及び歩道整備
- 基幹事業(道路) 市道岡6号線道路改良及び歩道整備(第Ⅲ工区)
- 提案事業(地域創造支援事業) 土地区画整理事業(岡中央地区)
- 提案事業(地域創造支援事業) 下水道事業(岡部処理区)
- 基幹事業(高質空間形成施設) 防犯灯整備事業(区域全域)
- 基幹事業(既存建築物活用事業) 岡部交流センター
- 提案事業(事業活用調査) 岡部交流センター活用調査
- 基幹事業(地域生活基盤施設) 岡中央緑地整備

Accompanying photos show:

- Completed park areas (e.g., Park No. 3, 1, 2, 4).
- Completed road paving and sidewalk improvements (e.g., Area 2, 1, 3 of Okabe 6th Street).
- Completed road paving in Area 9-2.
- Completed road paving and sidewalk improvements in Area 1 of Okabe 6th Street.

まちの課題の変化

- ・岡部駅から埼玉工業大学へ向かう道路の改良や歩道整備、防犯灯設置が進み、歩行者の安全性・快適性が向上した。
- ・アンケートによる住民ニーズを反映した施設計画により、住民にとって利用しやすい複合施設(岡部交流センター)が整備された。
- ・駅北側の土地区画整理事業の実施により、魅力ある住環境が創出されつつある。また、駅南側の道路の歩道整備等によりコスモス祭りの来場者が増加し、地域の活性化が図られた。
- ・岡部交流センターの整備により利用者の増加が見込まれるが、新たな課題として、既存の駐車場での対応には限界があり利用者の増加に対応しきれないことが想定される。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・行政としての道路機能の維持保全に加え、住民参加を視野に入れた歩道の清掃や植栽の管理等により、安全・快適な歩行空間の維持・保全に努める。
- ・整備後に、単に施設の維持管理を行うだけでは効率的な利用がなされないため、必要に応じて住民の意向を把握するなどにより、利用促進策を講じる。
- ・用地買収交渉を円滑に進め、早期の全区間整備完了を目指す。
- ・岡部交流センターの整備による施設利用者の増加に対応し、更なる利用促進を図るため、適正規模の駐車場確保に努める。